



平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年2月7日

上場会社名 株式会社北洋銀行 上場取引所 東・札
 コード番号 8524 URL <http://www.hokuyobank.co.jp/>
 代表者 (役職名) 取締役頭取 (氏名) 石井 純二
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画部長 (氏名) 藤井 文世 (TEL) 011-261-1311
 四半期報告書提出予定日 平成26年2月12日 配当支払開始予定日 —
 特定取引勘定設置の有無 無
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満、小数点第1位未満は切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	経常収益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	192,672	57.4	94,174	326.2	87,920	383.8
25年3月期第3四半期	122,355	—	22,094	—	18,170	—

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 48,516百万円(127.1%) 25年3月期第3四半期 21,363百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	219.22	135.49
25年3月期第3四半期	46.19	25.95

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第3四半期	7,840,082	411,530	5.2
25年3月期	7,812,377	401,137	5.1

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 408,405百万円 25年3月期 398,623百万円

(注) 「自己資本比率」は、(期末純資産の部合計-期末少数株主持分)を期末資産の部合計で除して算出しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	1.50	—	1.50	3.00
26年3月期	—	2.50	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	2.50	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 上記「配当の状況」は、普通株式に係る配当の状況です。当行が発行する普通株式と権利関係の異なる種類株式(非上場)の配当の状況については、後述の「種類株式の配当の状況」をご覧ください。

(注) 当行は、平成24年10月1日、親会社である株式会社札幌北洋ホールディングスを吸収合併しておりますので、25年3月期の第2四半期末の配当実績は、株式会社札幌北洋ホールディングスの配当金を記載しております。

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	経常収益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	229,500	41.4	100,000	231.5	90,500	366.8	199.83

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年3月期3Q	399,060,179株	25年3月期	399,060,179株
② 期末自己株式数	26年3月期3Q	180,919株	25年3月期	180,419株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	26年3月期3Q	398,879,496株	25年3月期3Q	377,558,814株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・四半期決算補足説明資料は、四半期決算短信に添付しております。
・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

種類株式の配当の状況

普通株式と権利関係の異なる種類株式に係る1株当たり配当金の内訳は以下のとおりです。

第1種優先株式	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	3.65	—	3.65	7.30
26年3月期	—	3.40	—		
26年3月期 (予想)				3.40	6.80

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4
(3) 継続企業の前提に関する注記	6
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	6

※平成26年3月期第3四半期決算説明資料

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間の経営成績につきましては、経常収益は、平成25年10月以降、価格変動リスクの高い有価証券の売却及び解約を積極的に進めた結果、有価証券利息配当金及びその他業務収益の増加等により、前第3四半期連結累計期間比703億円増加し1,926億円となりました。一方、経常費用は、株式等償却の減少を主因とするその他経常費用の減少等により、前第3四半期連結累計期間比17億円減少し984億円となりました。

これらの結果、経常利益は前第3四半期連結累計期間比720億円増加し941億円となりました。四半期純利益は前第3四半期連結累計期間比697億円増加し879億円となりました。

なお、セグメントの業績につきましては、銀行業の経常収益は前第3四半期連結累計期間比704億円増加し1,703億円、経常利益は同714億円増加し923億円となりました。また、リース業の経常収益は前第3四半期連結累計期間比1億円増加の204億円、経常利益は同1億円減少し6億円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の財政状態につきましては、貸出金は5兆3,895億円と前連結会計年度末比1,945億円減少いたしました。有価証券は1兆4,212億円と前連結会計年度末比1,398億円減少いたしました。預金及び譲渡性預金は7兆1,894億円と前連結会計年度末比179億円増加いたしました。

これらの結果、当第3四半期連結会計期間末の総資産は7兆8,400億円と前連結会計年度末比277億円増加し、負債は7兆4,285億円と同173億円増加、純資産は4,115億円と103億円増加いたしました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成25年12月17日に公表いたしました業績予想の修正から変更ありません。

2. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
現金預け金	298,236	695,884
コールローン及び買入手形	125,233	72,152
買入金銭債権	14,171	15,047
商品有価証券	5,571	5,755
金銭の信託	1	—
有価証券	1,561,104	1,421,228
貸出金	5,584,120	5,389,544
外国為替	1,786	3,296
リース債権及びリース投資資産	44,711	44,818
その他資産	81,588	89,207
有形固定資産	96,445	94,830
無形固定資産	14,013	14,692
繰延税金資産	13,105	14,259
支払承諾見返	50,780	58,538
貸倒引当金	△78,490	△79,173
資産の部合計	7,812,377	7,840,082
負債の部		
預金	7,073,264	6,931,113
譲渡性預金	98,229	258,352
借入金	117,250	101,723
外国為替	43	78
その他負債	61,776	68,668
賞与引当金	1,653	414
退職給付引当金	2,153	3,593
睡眠預金払戻損失引当金	1,470	1,611
ポイント引当金	282	257
繰延税金負債	—	87
再評価に係る繰延税金負債	4,335	4,113
支払承諾	50,780	58,538
負債の部合計	7,411,240	7,428,552
純資産の部		
資本金	121,101	121,101
資本剰余金	121,604	86,282
利益剰余金	64,296	149,820
自己株式	△0	△0
株主資本合計	307,002	357,203
その他有価証券評価差額金	84,596	44,488
繰延ヘッジ損益	△232	△139
土地再評価差額金	7,257	6,852
その他の包括利益累計額合計	91,621	51,201
少数株主持分	2,513	3,125
純資産の部合計	401,137	411,530
負債及び純資産の部合計	7,812,377	7,840,082

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第3四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第3四半期連結累計期間 （自平成24年4月1日 至平成24年12月31日）	当第3四半期連結累計期間 （自平成25年4月1日 至平成25年12月31日）
経常収益	122,355	192,672
資金運用収益	71,677	116,565
（うち貸出金利息）	59,724	55,547
（うち有価証券利息配当金）	11,573	60,407
役務取引等収益	20,612	21,906
その他業務収益	27,964	44,037
その他経常収益	2,101	10,163
経常費用	100,261	98,498
資金調達費用	4,323	3,992
（うち預金利息）	1,619	1,380
役務取引等費用	6,937	7,584
その他業務費用	18,849	20,103
営業経費	56,982	58,528
その他経常費用	13,168	8,290
経常利益	22,094	94,174
特別利益	13	72
固定資産処分益	13	72
特別損失	829	1,031
固定資産処分損	328	224
減損損失	500	807
税金等調整前四半期純利益	21,278	93,214
法人税、住民税及び事業税	2,197	724
法人税等調整額	934	4,189
法人税等合計	3,132	4,914
少数株主損益調整前四半期純利益	18,146	88,300
少数株主利益又は少数株主損失（△）	△23	379
四半期純利益	18,170	87,920

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	18,146	88,300
その他の包括利益	3,216	△39,783
その他有価証券評価差額金	3,131	△39,876
繰延ヘッジ損益	85	92
四半期包括利益	21,363	48,516
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	21,528	47,905
少数株主に係る四半期包括利益	△165	611

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当ありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

(単位：百万円)

	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	121,101	121,604	64,296	△0	307,002
当第3四半期連結会計期間末までの 変動額(累計)					
剰余金の配当			△2,801		△2,801
四半期純利益(累計)			87,920		87,920
自己株式の取得(注)				△35,322	△35,322
自己株式の消却(注)		△35,322		35,322	—
その他		0	404	0	404
当第3四半期連結会計期間末までの 変動額(累計)合計	—	△35,321	85,523	△0	50,201
当第3四半期連結会計期間末残高	121,101	86,282	149,820	△0	357,203

(注) 平成25年7月25日付で第1種優先株式の一部を自己株式として取得し、同日付で消却しております。

平成 26 年 3 月期 第 3 四半期決算説明資料

1. 損益状況 【単体】

- 当第3四半期会計期間において、価格変動リスクの高い有価証券の売却及び解約を積極的に進めた結果、有価証券利息配当金及び有価証券関係損益が増加いたしました。
- コア業務粗利益は、有価証券利息配当金の増加を主因とする資金利益の増加により 1,251 億円と前年比 464 億円増加しました。経費（除く臨時処理分）が 556 億円と前年並みとなりましたことから、コア業務純益は 695 億円と前年比 464 億円の増加となりました。
- 経常利益は、コア業務純益の増加に加え、有価証券関係損益が 299 億円と前年比 306 億円増加したことにより 923 億円と前年比 714 億円の増加となりました。
- 四半期純利益は、872 億円と前年比 698 億円の増加となりました。

(単位：百万円)

	平成 24 年度 第 3 四半期	平成 25 年度 第 3 四半期	前年比	25 年度通期 (業績予想)
経常収益	99,883	170,307	70,424	200,500
コア業務粗利益	78,764	125,173	46,409	
資金利益	67,276	112,843	45,567	
役務取引等利益	10,699	11,331	632	
その他	787	997	210	
経費（除く臨時処理分）	55,689	55,643	△46	
コア業務純益	23,074	69,529	46,455	
貸倒償却引当費用	2,177	2,754	577	
有価証券関係損益	△675	29,941	30,616	
国債等債券関係損益	6,910	21,602	14,692	
株式等関係損益	△7,586	8,338	15,924	
その他の経常損益	619	△4,385	△5,004	
経常利益	20,839	92,331	71,492	98,000
特別損益	△809	△959	△150	
税引前四半期純利益	20,029	91,371	71,342	
法人税等	2,593	4,080	1,487	
四半期(当期)純利益	17,436	87,291	69,855	90,000

(注) 1. コア業務粗利益＝資金利益＋役務取引等利益＋(その他業務利益－国債等債券関係損益)

2. コア業務純益＝コア業務粗利益－経費(臨時処理分を除く)

2. 主要勘定等残高（期末残高）

- ・資金量未残は、7兆2,087億円と前年比2,665億円の増加となりました。
- ・預かり資産未残は、4,619億円と前年比86億円の減少となりました。
- ・個人年金保険等は、3,941億円と前年比688億円の増加となりました。
- ・貸出金未残は、5兆4,388億円と前年比533億円の減少となりました。
- ・有価証券未残は、1兆4,213億円と前年比1,446億円の減少となりました。

【単体】

(単位：億円)

	24/12末	25/12末	前年比	25/9末	25/9末比
資金量	69,421	72,087	2,665	71,964	123
うち個人預金	48,822	49,731	909	48,467	1,264
預かり資産	4,706	4,619	△86	4,667	△48
公共債保護預かり	3,422	3,129	△292	3,193	△63
投資信託	1,284	1,489	205	1,474	15
合計	74,127	76,706	2,578	76,631	74
個人年金保険等	3,252	3,941	688	3,810	130
貸出金	54,922	54,388	△533	55,658	△1,269
中小企業等貸出金	34,070	33,422	△648	34,845	△1,423
個人向ローン	16,064	16,237	173	16,081	156
有価証券	15,659	14,213	△1,446	14,367	△154

(注) 1. 資金量＝預金＋譲渡性預金

2. 個人預金は、譲渡性預金及び特別国際金融取引勘定分を除いております。

3. 投資信託については、時価による表示としております。なお、従来同様の取得金額ベースに基づく平成25年12月末の残高は1,521億円であり、前年比88億円の増加となっております。

4. 個人年金保険等は、販売累計額を記載しております。

3. 自己資本比率（国内基準）

- ・自己資本比率（概算値）は、13.2%程度と25年9月末対比2.3ポイント程度上昇いたしました。

【単体】

	25/9末 (実績)	25/12末 (概算値)	25/9末比
自己資本比率	10.83%	13.2%程度	2.3%程度
Tier I 比率	8.01%	10.6%程度	2.5%程度

4. 有価証券の評価損益

- 有価証券評価損益は、640 億円と 25 年 9 月末対比 600 億円の減少となりました。

【単体】

(単位：億円)

	25/9 末			25/12 末			
	評価損益	評価益	評価損	評価損益	25/9 末比	評価益	評価損
その他有価証券	1,240	1,292	52	640	△600	679	38
株式	495	499	4	446	△48	450	3
債券	177	180	2	171	△6	176	5
その他	567	613	45	22	△545	52	29
日経平均株価	14,455 円			16,291 円			
新発 10 年国債利回	0.680 %			0.735 %			

5. 金融再生法に基づく開示債権

- 金融再生法開示債権は、1,516 億円と前年比 149 億円の減少となりました。
- 開示債権比率（部分直接償却後）は、1.95%と前年比 0.29 ポイント改善いたしました。

【単体】

(単位：億円)

	24/12 末	25/12 末	前年比	25/9 末	25/9 末比
	破産更生債権及びこれらに準ずる債権	605	605	0	616
危険債権	797	654	△143	658	△4
要管理債権	262	256	△6	259	△3
合計	1,666	1,516	△149	1,535	△18
部分直接償却後	1,254	1,083	△170	1,108	△24
正常債権	54,506	54,280	△225	55,444	△1,163
総与信額	56,172	55,797	△374	56,979	△1,182
部分直接償却後	55,760	55,364	△395	56,552	△1,188
<総与信に占める開示債権の比率>					
	(単位：%)				
開示債権比率	2.96	2.71	△0.25	2.69	0.02
部分直接償却後	2.24	1.95	△0.29	1.95	△0.00

(注) 部分直接償却は未実施ですが、参考として部分直接償却を実施した場合の計数を記載しております。